

\*小集団学習は、この中から児童の実態に合わせて活動を選んで学習します。

# 【9月の指導内容】

## ～ おやつすごろく（基礎）～



休み時間の子供たちの様子を見ていると、何も言わずに遊びに入ろうとしたり、カードゲームをしているときにいきなり友達のカードを取ってしまったりする姿がありました。「友達と仲良く」の学習では、ひばり劇場を見て、具体的な場面でどのような言葉を言えばよいのか考えました。その後の「おやつすごろく」では、遊びの中で「入れて。」「見せて。」などのかかわり言葉を使う体験をしました。また、ルールを守ることで、友達と楽しく遊べた経験にもつながりました。欲しかったカードをゲットできたときには「やったー！」と喜んだり「またやりたい！」という声が上がったりするなど、楽しく取り組む様子が見られました。



## ～ 鬼遊び 9マス鬼（実践）・コーン鬼ごっこ（発展）～

9月の活動として、実践グループは「9マス鬼」、発展グループは「コーン鬼ごっこ」に取り組みました。「9マス鬼」は、9つのマスの中を友達とタイミングを合わせて1マスずつジャンプするという活動です。10回以内に鬼の人と逃げる人が同じマスの中に入ったら鬼の勝ち、同じマスに入らなければ逃げる人の勝ちというルールです。初めは、相手の動きを意識せず跳んでいましたが、繰り返し行くと、相手の動きを予測して跳ぶ方向を考えながら動く姿が見られるようになりました。

「コーン鬼ごっこ」は、鬼がコーンを触っていない人をタッチすることができ、30秒間に何回タッチできるかを競う活動です。逃げる人は、コーンを触っていれば捕まりませんが、1つのコーンに1人しか触れないため他の人が来たら別のコーンへ移動しなければいけません。逃げる人が次々と変化していくため、鬼の人は周りを意識しながら状況を判断して動く必要があります。瞬時に動きを切り替えることが難しく、苦戦する様子がありました。

実践・発展グループの運動では、友達の動きを意識しながら自分がどのように動けばよいか考えて体を動かす経験を積んでいます。

